

自己評価結果報告書

令和 7年 2月 21日

山口県障害者支援課長 様

所在地 山口県光市大字小周防1658-1
法人名 特定非営利活動法人 優喜会
代表者 職 氏名 理事長 富田 勝久

1. 事業所の状況

事業所の名称	サルビアの家		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援		
事業所番号	3555300015		
連絡先	TEL	0833-45-4600	
	E-mail	yu-kikai@cameo.plala.or.jp	

2. 取組時期

①保護者による評価	R7年 1月 20日 ~	R7年 2月 4日
②従業者による評価	R7年 1月 20日 ~	R7年 2月 4日
③事業所全体による評価	R7年 2月 5日 ~	R7年 2月 5日
④訪問先施設による評価 ※保育所等訪問支援のみ	年 月 日 ~	年 月 日

3. 公表結果

公表日	R7年 2月 5日
公表の方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ
	URL : https://yu-kikai.org/
	<input type="checkbox"/> 紙媒体を掲示の上、保護者へ配布
	<input type="checkbox"/> その他 ()

担当者	富田 勝久
連絡先 (TEL)	0833-76-0550

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サルビアの家		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 2月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業所向け自己評価表作成日	令和7年 2月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士の意見の交換や、職員会議を行う事で、利用者様の状況把握や、支援の方法など共有できている。	・連絡事項や、支援の内容等変更があった場合には、全員が周知できるように、口頭や職員会議記録をつけ目を通すように行っている。 ・職員の気の緩みから支援が疎かにならないように、定期的に見直し、確認を行っている。	・伝達ミス、抜けがないように心がけ、職員間で声を掛け合う。 ・状況に応じた対応ができるように、職員のスキルを上げていく。
2	集団活動、個別活動が固定しないように提供をしている。	・活動内容を決定していく為に、意見を出し合い準備を行っている。 ・利用者様に合わせた関わり方や対応をその都度話し合い提供をしている。	・好きな事以外興味を持たれない利用者様と一緒に取り組む課題を検討していく。
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	送迎業務で職員が手薄な時間があり、トラブルや予定外があった場合に機敏に行動できていないかとも思われるときがある。	・全介助、一部介助の必要な利用者様が多い中、職員の動き、見守り介助の仕方。	・あらかじめ職員配置、利用者様の配置を行う。 ・職員1人1人が全体状況を把握した行動、支援、保護者様対応が行えるようスキルを上げていく為、経験を積んでいく。
2	保護者様同士の交流の機会や地域のこども達との交流がない。	日々の利用者様支援に重きを置いていたため、地域資源を有効的に活用出来ていないと考えられる。	職員サイドの地域資源の再調査や、活動を行っている地域をもっと知っていき、交流の橋渡しと出来るよう努力する。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 サルビアの家

公表日 年月日 R7、2月

利用児童数 年月日 R7、2月 17人

回収数 17人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1		2		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		4		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構築化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16			1		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	7	地域の学校や児童クラブの交流はないと感じる。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1		5		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				いつも助けていただけて感謝しています。	保護者様の意向や要望を聞き、本人支援を行っていきたいと思う。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	2	7	兄弟児や保護者向けの交流はないと感じる。	外出活動など、イベントを行う活動内容を計画し、交流の場が持てる活動を提供できるか検討して行く。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1			いろいろな様子を教えてもらっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13	2		2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17				みなさんの笑顔にこちらもうれしくなります。	保護者様、利用者様が安心してご利用していただけるように今後の支援も行っていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				とても満足しています、ありがとうございます。いつも温かく迎えてくださり、ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サルビアの家				公表日		R7年 2 月 5 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		1	4	利用者様（車椅子利用者様）の配置を考え、密接にならないように行っている。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5		送迎業務で職員が手薄な時間帯もあるが、日常的に不足しているとは感じない。不足と思われる時には、あらかじめ配置を職員間で確認している。		手薄な時間帯に予定外や、トラブルがあった場合迅速に対応していけるようにスキルを上げていく。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		5		部屋全体を見渡せるよう、大きな扉が少ない。また、段差が少なく、バリアフリーな環境。				
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		5		毎日、消毒、清掃を行っている。危険なものは辺りに配置しないようにしている。				
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5		発作時、体調不良時は、別室にて対応できるようにしている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5		その都度、職員同士でミーティングを行い、情報共有をしている。職員会議を行い、職員からの提案により改善する場を設けている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		アンケートに書かれた改善点等あれば、その都度、職員で話し合い改善するように心掛けている。		改善をし保護者様全員に周知ができていたと思うのだが、出来ていない事柄について再確認をしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		何かあれば、その都度、職員で話し合う機会を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	2	第三者の評価を職員に情報共有を行っている。改善すべき支援等を行う時には、職員で話合う。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		5		定期的に、法人内で研修する機会がある。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		5		来所時の利用者様名簿に支援や気をつける点の記入がされいつでも支援の内容を確認できるようになっている。年に2度、更新時期に計画書の作成を行っている。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		5		面談を行い、支援の変更等職員がいつでも確認し周知するファイルがある。保護者様と面談を行いアセスメントを行っている。		課題について細かく設定をしていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		5		会議を開き、支援内容を決定し統一した支援が行えるようにしている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		5		利用者様名簿に支援内容を個々に記載している。情報共有することで職員間で気を付けている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		3	2				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		5		保護者様の意見も取り入れ計画書に記載している。情報共有を行い、計画書も自由に見る事ができる。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		5		職員同士話し合っ決めていく。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		5		季節ごとに行事等を職員同士で話し合っている。利用曜日により連日利用、週2以上利用の方には別の活動、個別活動を行ったりしている。		集団活動内容を一人一人参加できるように毎回考え行っているが、車いすやバギーから降りての活動を行う場合動き回る利用者様について課題を毎回検討している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		個別に計画している支援内容を基に支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	毎回行っているわけではないが、その日に対処する事柄などあった時には情報共有を行っている。	非常勤務職員への伝達ミス、ぬげがないように心がける。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		毎日記録を残し、変わったことがあればその都度記載している。	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		年に2度の更新の時期や、保護者様からのご要望、日々の変化により見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		実際に本人と関わっている職員が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		ご利用開始前に、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		移行支援会議に参加をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	他部署が参加しているため、連絡があれば行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時、面談時、保護者様と話す機会を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	研修の資料配布等を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用開始前、契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	以前は行っていたが、コロナ禍により行われなくなった。	保護者様同士の交流の場を設けていく課題
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		長期休み時期やイベント活動など活動の様子を写真に撮り年に何回か保護者様に配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	隣接する施設から行事等連絡があり参加をさせて頂いている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		法人内で会議したり、事業所で避難訓練を行っている。	事業所避難訓練を行い、活動内容記載、プリント配布を行ったが、まだまだ保護者様全員に周知されていなかった。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		隣接する施設合同避難訓練に参加している。また、活動で避難訓練を取り入れている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		ご利用前に保護者様に確認している。また、服用の薬等変更があれば、その都度保護者様から提示させて頂いている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		以前、食物アレルギーの方がおられ、マニュアルを作成し、それを基に支援を行っていた。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		緊急時、災害時に備え固定電話以外の緊急時連絡用に事業所携帯電話の番号を保護者様にお伝えしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		その都度、ヒヤリハットがあれば用紙に記入、報告を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待に関する研修に参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		車椅子ベルト等、身体拘束を行うことの説明、同意を得た上でやっている。	

